

タイトル『神様がくれた、100日間の優しい奇跡』

著者：望月くらげ

出版社：スターツ出版

「あなたと過ごしたのはたった100日間
だったけど」

私は、あなたのことが大好きでした」

音を隠してきた萌々果は、神様を名乗る同級生と出会い
少しずつ本当の自分を見せるようになった。

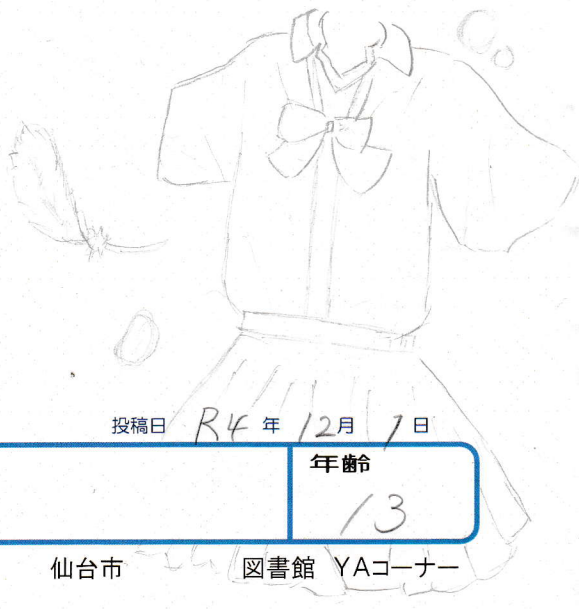
しかし... 神様を名乗る同級生から

「残りの余命は100日間」と告げられた。

この100日間、萌々果はどう過ごすのか...

そして神様の正体は...

中高生に大人気な
小説なので
中高生のみなさん
ぜひ読んでみてください!



投稿日 R4年12月7日

ペンネーム (本名は書かないでね!)

年齢

カビルンルン

13

仙台市

図書館 YAコーナー